

今季のスギ花粉情報（第1報）

身近な自然と診療メモ

(1/18/2021)

コロナ感染症の緊急事態宣言がでてでも一向に衰えず悩まされる日々です。例年通りスギ花粉症の時期も近づいてきました。スギ花粉の基となる雄花の数は前年度の7月8月の日照時間に影響され、7月の日照時間は少なく8月多くなりました。杉並区のスギの雄花は多くありませんが、入間のスギの雄花は十分着花していました。



(杉並区定点2)



(入間のスギの雄花 2021/1/13)



例年通りの花粉対策は必要です。この乾燥した時期に鼻内を正常にしておくことが大切です。今鼻症状を訴えている人は花粉症というよりむしろ寒暖差アレルギーが多いです。

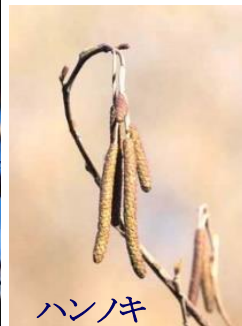
当院はコロナ対策として次亜塩素酸水を用いた除菌消臭も行っています。



(梅檀の実)



(2021/1/13)



ハンノキ



(カワセミ) (2021/1/13)

善福寺公園の梅檀の実をヒヨドリが食べ、数少なくなりました。カワセミをみるとホットし心が安らぎます。

(山口内科耳鼻咽喉科 1/18/2021)